

## 第26回 全国レディースサッカー大会 熊本県大会 大会要項

主旨	公益財団法人 日本サッカー協会は、30歳以上の女性を主な対象に普及を主目的として本大会を開催する。本大会は、女性のサッカーの普及促進のため開催するものであり、大会に参加する女性がサッカーを通じて友好と親睦を深め、さらには、生涯スポーツとしてのレディースサッカーの浸透・発展に寄与することを目的とする。
名称	第26回全国レディースサッカー大会 熊本県大会
主催	一般社団法人 熊本県サッカー協会
主管	一般社団法人 熊本県サッカー協会 女子委員会
期日	2014年9月23日(火・祝)
会場	熊本県民運動公園 スポーツ広場 861-8012 熊本市東区平山町 2776 TEL 096-380-0782
参加資格	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 1984年(昭和59年)12月31日以前生まれの公益社団法人 日本サッカー協会登録選手(女性)によって構成されたチームであること。</li><li>2. 上記(1)の参加資格を満たす選手に加えて、アンダーエイジ枠として、1985年(昭和60年)1月1日から1992年(平成4年)4月1日までに生まれた公益法人 日本サッカー協会登録選手(女性)を参加申込することができる。但し、アンダーエイジ枠の選手はピッチ上に同時に2名までしかプレーできない。</li><li>3. なお、当該チームは公益法人 日本サッカー協会の加盟登録チームである必要はない。</li><li>4. 外国籍選手：5名まで登録でき、1試合3名まで出場できる。</li><li>5. 移籍選手：予選から本大会に至るまでに、同一選手が異なるチームへ移籍後、再び同一大会に参加申込することはできない。 ※チームの編成は、あくまでも人数の都合上単独チームとして参加できない場合のみ可能となるものであり、普及を目的とする大会であることの主旨に鑑み、極端な勝利至上主義を目的としたチームの編成は行わないこと。</li><li>6. 帯同審判を2名以上確保していること。</li><li>7. 選手証：試合会場に選手証(写真付)を持参しない選手は試合に出場できない。</li></ol>
競技方法	<ol style="list-style-type: none"><li>1. リーグ戦、もしくはトーナメント方式で行う。(参加チーム数により決定する)</li><li>2. 試合時間：50分(前・後半25分)</li><li>3. ハーフタイムのインターバル：原則として10分(前半終了から後半開始まで)</li><li>4. リーグ戦方式における順位決定方法は、勝点合計の多いチームを上位と</li></ol>

し順位を決定する。

勝点は、勝利3点、引き分け1点、敗戦0点とする。

但し、勝点合計が同じ場合は、以下の項目の順序で順位を決定する。

① 全試合の得失点差（＝総得点－総失点）

② 全試合の総得点数

③ 当該チーム同士の対戦結果（勝敗）

④ 前記項目が同一の場合は、抽選（当該チーム代表者の立ち会いによる）により決定する。

5. トーナメント方式を行う場合の試合の勝者を決定する方法（50分で勝敗が決しない場合は、10分（前・後半5分）の延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式により勝者を決定する。

□延長戦に入る前のインターバル：3分

□PK方式に入る前のインターバル：1分

## 競技規定

本年度の公益財団法人 日本サッカー協会競技規則による。

但し、以下の項目については本大会規定を定める。

1. 大会参加申込した最大30名の選手のうち、各試合の登録選手は最大18名とする。
2. 交代要員は、競技開始前に登録した最大7名とし、自由な交代を適用する。（交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。但し、交代の手続きはサッカー競技規則第3条に則って行う。）
3. ベンチ入りできる人数は最大12名（交代7名、役員5名）としているが、熊本県大会ではこのとおりとはしない。
4. 本大会において退場を命じられた選手は次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会の規律委員会において決定する。
5. 本大会期間中、異なる試合で警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。
6. テクニカルエリア：設置する。  
戦術的指示はテクニカルエリア内からその都度ただ1人の役員が伝えることができる。
7. 第4の審判員：任命する。
8. アディショナルタイムの表示：実施する。
9. 負傷した競技者の負傷の程度を確かめるために入場を許される役員の数：2名以内
10. 装身具：一切の装身具の着用を禁止し、装身具を覆うテープの使用も不可とする。

## ユニフォーム

1. ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ストッキング）については、正の他に副として、正と色彩（濃淡）が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込書に記載し、各試合に必ず携行すること（FP・GK用共）
2. シャツの色彩は審判員が常時着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
3. 選手番号は参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ユニフォームのシャツが縞（縦縞も横縞も）の場合は、台地（白布地等）

